



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東  
 コード番号 9955 URL http://www.yonkyu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	40,461	2.0	1,405	1.9	1,673	0.9	694	△28.9
2019年3月期	39,680	2.8	1,379	△21.5	1,659	△17.5	977	△21.8

(注) 包括利益 2020年3月期 783百万円 (10.9%) 2019年3月期 706百万円 (△45.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	59.90	—	2.6	4.8	3.5
2019年3月期	84.59	—	3.9	4.9	3.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 13百万円 2019年3月期 6百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	34,932	27,213	77.9	2,234.70
2019年3月期	35,007	25,590	73.1	2,213.87

(参考) 自己資本 2020年3月期 27,211百万円 2019年3月期 25,588百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	805	56	347	9,816
2019年3月期	909	△1,319	188	8,608

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	138	14.2	0.5
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00	146	20.0	0.5

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,461	0.0	1,405	0.0	1,673	0.0	694	0.0	56.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	12,211,526株	2019年3月期	11,592,995株
② 期末自己株式数	2020年3月期	34,887株	2019年3月期	34,709株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	11,595,886株	2019年3月期	11,553,486株

(注) 詳細は、添付資料15ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で緊急事態宣言が発令され、極めて不透明な状況となっております。

また、当養殖業界におきましても、政府や各地方自治体からの外出自粛及び店舗の休業要請等により消費が落ち込み、鮮魚の取扱量が大幅に減少するなど、経営環境は厳しい状況となっております。

こうした状況の中、当社グループの「鮮魚の販売事業」は、タイ・ハマチの魚価が低下する一方、カンパチは魚価が高値基調で推移したことで販売数量が大幅に減少したことなどにより減収となりました。また、「餌料・飼料の販売事業」は、生餌・配合飼料等の販売数量が伸びたことで増収となりました。

利益面ではタイ・ハマチの魚価低下により貸倒引当金繰入（当連結会計年度は2億36百万円の繰入で、前連結会計年度は3億85百万円の戻入であった。）が大幅に増加したものの、本業での利益が増加したため、営業利益及び経常利益は前期実績を若干上回るものとなりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による株式市場の下落により、投資有価証券評価損を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は404億61百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は14億5百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益は16億73百万円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は6億94百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	2019年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	2020年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	26,664	25,470	△1,194	△4.5
餌料・飼料の販売事業	12,987	14,960	1,973	15.2
その他の事業	28	30	1	5.6
合 計	39,680	40,461	780	2.0

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」は、売上高は254億70百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント損失は67百万円（前連結会計年度はセグメント損失3億7百万円）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」は、売上高は149億60百万円（前年同期比15.2%増）、セグメント利益は14億80百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

「その他の事業」は、売上高は30百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は8百万円（前連結会計年度は、セグメント損失7百万円）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は255億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円(1.5%)増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加(145億4百万円から154億13百万円となり、9億8百万円増加)、商品及び製品の増加(4億64百万円から6億66百万円となり、2億2百万円増加)、貸倒引当金の増加(△7億95百万円から△10億13百万円となり、2億17百万円増加)及び短期貸付金の減少(8億58百万円から3億75百万円となり、4億82百万円減少)等によるものであります。

固定資産合計は93億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円(4.5%)減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少(44億71百万円から41億3百万円となり、3億67百万円減少)等によるものであります。

この結果、資産合計は349億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円(0.2%)減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は57億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億56百万円(19.0%)減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(38億37百万円から23億71百万円となり、14億65百万円減少)等によるものであります。

固定負債合計は19億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億40百万円(15.1%)減少いたしました。これは主に長期借入金の減少(17億89百万円から14億16百万円となり、3億72百万円減少)等によるものであります。

この結果、負債合計は77億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億97百万円(18.0%)減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は272億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億22百万円(6.3%)増加いたしました。これは主に第三者割当増資により資本金及び資本剰余金の増加(資本金が22億13百万円から27億2百万円となり、4億89百万円増加し、資本剰余金が31億50百万円から36億39百万円となり、4億89百万円増加)、利益剰余金の増加(201億63百万円から207億19百万円となり、5億55百万円増加)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.9%(前連結会計年度末は73.1%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は98億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億8百万円(14.0%)増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億5百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益の計上(13億72百万円)、仕入債務の減少(14億65百万円)及び減価償却費(5億94百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は56百万円(前連結会計年度は13億19百万円支出)となりました。

これは主に、貸付けによる支出(11億15百万円)、貸付金の回収による収入(13億14百万円)、固定性預金の減少(2億99百万円)、投資有価証券の取得による支出(1億99百万円)及び有形固定資産の取得による支出(1億78百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3億47百万円(前年同期比84.5%増)となり、これは主に株式の発行による収入(9億52百万円)、長期借入による収入(6億56百万円)、長期借入金の返済による支出(11億21百万円)及び配当金の支払い(1億38百万円)等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言が継続され、経済活動の停滞や消費の落込みなど、世界経済は大きく減速することが懸念されております。

当社グループにおきましても、鮮魚の取扱量の減少や魚価低下など、経営環境はより厳しい状況が予想されます。

また、今後の経済活動の回復時期なども不透明な状況の中で、次期の連結業績予想は当該感染症が第1四半期(2020年6月末)で収束することを前提とした計画としており、売上、利益共に前期比横ばい予想としております。

なお、今後業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかにお知らせいたします。

以上のことから、次期の連結業績予想数字は、売上高404億61百万円、営業利益14億5百万円、経常利益16億73百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6億94百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分の基本方針は、業績・財政状況及び将来の企業価値向上に向けた事業投資のための資金需要等を総合的に勘案した上で、安定した配当を継続的に行うことを基本方針とし、当期の期末配当金につきましては、1株当たり12円の配当を実施予定であります。

なお、次期の年間配当金は1株当たり12円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,504,321	15,413,035
受取手形及び売掛金	6,797,014	6,896,646
商品及び製品	464,002	666,500
仕掛品	3,047,288	3,083,968
原材料及び貯蔵品	27,931	27,816
短期貸付金	858,380	375,604
その他	270,020	92,840
貸倒引当金	△795,685	△1,013,446
流動資産合計	25,173,273	25,542,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,527,134	3,550,513
減価償却累計額	△1,494,979	△1,628,420
建物及び構築物 (純額)	2,032,155	1,922,093
機械装置及び運搬具	2,920,988	2,976,159
減価償却累計額	△1,853,843	△2,127,531
機械装置及び運搬具 (純額)	1,067,144	848,627
工具、器具及び備品	885,456	888,527
減価償却累計額	△713,104	△755,126
工具、器具及び備品 (純額)	172,351	133,401
土地	1,199,357	1,199,357
有形固定資産合計	4,471,009	4,103,479
無形固定資産		
投資その他の資産	219,890	179,936
投資有価証券	4,353,830	4,396,144
長期貸付金	583,697	575,579
投資不動産	657,848	658,699
減価償却累計額	△429,706	△435,396
投資不動産 (純額)	228,141	223,303
繰延税金資産	316,032	279,232
その他	320,875	309,375
貸倒引当金	△659,446	△677,369
投資その他の資産合計	5,143,130	5,106,265
固定資産合計	9,834,030	9,389,681
資産合計	35,007,304	34,932,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,837,275	2,371,947
短期借入金	2,565,625	2,472,500
未払法人税等	313,390	382,065
賞与引当金	22,547	23,336
その他	416,879	548,914
流動負債合計	7,155,717	5,798,763
固定負債		
長期借入金	1,789,375	1,416,875
役員退職慰労引当金	163,412	191,867
退職給付に係る負債	265,814	269,049
資産除去債務	34,901	35,337
繰延税金負債	7,758	7,460
固定負債合計	2,261,261	1,920,589
負債合計	9,416,978	7,719,353
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,213,567	2,702,945
資本剰余金	3,150,296	3,639,674
利益剰余金	20,163,473	20,719,352
自己株式	△18,356	△18,626
株主資本合計	25,508,981	27,043,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,530	167,825
その他の包括利益累計額合計	79,530	167,825
非支配株主持分	1,813	2,123
純資産合計	25,590,325	27,213,294
負債純資産合計	35,007,304	34,932,647



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	39,680,517	40,461,098
売上原価	34,826,560	34,854,762
売上総利益	4,853,957	5,606,335
販売費及び一般管理費	3,474,719	4,200,338
営業利益	1,379,237	1,405,996
営業外収益		
受取利息	105,095	90,576
受取配当金	83,446	114,595
投資不動産賃貸料	32,931	32,715
持分法による投資利益	6,968	13,640
受取賃貸料	11,794	11,772
その他	67,668	34,516
営業外収益合計	307,903	297,816
営業外費用		
支払利息	6,112	5,761
投資不動産賃貸費用	16,716	16,150
その他	5,271	7,995
営業外費用合計	28,099	29,906
経常利益	1,659,042	1,673,907
特別損失		
減損損失	37,979	—
投資有価証券評価損	33,540	301,791
特別損失合計	71,519	301,791
税金等調整前当期純利益	1,587,522	1,372,115
法人税、住民税及び事業税	642,939	684,592
法人税等調整額	△32,989	△7,371
法人税等合計	609,949	677,221
当期純利益	977,572	694,894
非支配株主に帰属する当期純利益	279	315
親会社株主に帰属する当期純利益	977,293	694,578

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	977,572	694,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270,704	89,067
持分法適用会社に対する持分相当額	△720	△778
その他の包括利益合計	△271,424	88,289
包括利益	706,148	783,183
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	705,878	782,874
非支配株主に係る包括利益	270	309

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,517	3,137,246	19,324,680	△17,881	24,644,562
当期変動額					
新株の発行	13,050	13,050			26,100
剰余金の配当			△138,500		△138,500
親会社株主に帰属する当期純利益			977,293		977,293
自己株式の取得				△475	△475
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	13,050	13,050	838,792	△475	864,418
当期末残高	2,213,567	3,150,296	20,163,473	△18,356	25,508,981

	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	350,945	1,543	24,997,052
当期変動額			
新株の発行			26,100
剰余金の配当			△138,500
親会社株主に帰属する当期純利益			977,293
自己株式の取得			△475
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△271,415	270	△271,144
当期変動額合計	△271,415	270	593,273
当期末残高	79,530	1,813	25,590,325

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,213,567	3,150,296	20,163,473	△18,356	25,508,981
当期変動額					
新株の発行	489,377	489,377			978,754
剰余金の配当			△138,699		△138,699
親会社株主に帰属する当期純利益			694,578		694,578
自己株式の取得				△269	△269
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	489,377	489,377	555,879	△269	1,534,364
当期末残高	2,702,945	3,639,674	20,719,352	△18,626	27,043,345

	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	79,530	1,813	25,590,325
当期変動額			
新株の発行			978,754
剰余金の配当			△138,699
親会社株主に帰属する当期純利益			694,578
自己株式の取得			△269
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	88,295	309	88,604
当期変動額合計	88,295	309	1,622,969
当期末残高	167,825	2,123	27,213,294

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,587,522	1,372,115
減価償却費	559,140	594,037
減損損失	37,979	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,308	28,454
賞与引当金の増減額 (△は減少)	971	789
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△498,967	235,684
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,126	3,234
受取利息及び受取配当金	△188,542	△205,171
支払利息	6,112	5,761
持分法による投資損益 (△は益)	△6,968	△13,640
固定資産売却損益 (△は益)	△8,624	△383
固定資産除却損	2,287	1,482
投資有価証券評価損益 (△は益)	33,540	301,791
投資不動産賃貸収入	△32,931	△32,715
投資不動産賃貸費用	16,716	16,150
売上債権の増減額 (△は増加)	△337,150	269,869
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△746,827	△239,063
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,055,193	△1,465,327
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,820	258,322
その他	△22,013	36,412
小計	1,494,052	1,167,803
利息及び配当金の受取額	199,046	204,389
利息の支払額	△6,512	△6,274
法人税等の支払額	△777,107	△560,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	909,478	805,396
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	699,830	299,978
投資有価証券の取得による支出	△858,537	△199,484
有形固定資産の取得による支出	△1,076,384	△178,876
有形固定資産の売却による収入	9,694	388
無形固定資産の取得による支出	△81,253	△19,420
出資金の払込による支出	—	△40,000
投資不動産の取得による支出	△1,620	△2,775
投資不動産の賃貸による収入	32,931	32,715
投資不動産の賃貸による支出	△9,145	△8,786
貸付けによる支出	△719,370	△1,115,497
貸付金の回収による収入	684,719	1,314,707
その他	△651	△26,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,319,786	56,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	952,200
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	—
長期借入れによる収入	—	656,250
長期借入金の返済による支出	△372,500	△1,121,875
自己株式の取得による支出	△475	△269
配当金の支払額	△138,598	△138,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	188,425	347,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,048	△991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△219,833	1,208,692
現金及び現金同等物の期首残高	8,827,885	8,608,052
現金及び現金同等物の期末残高	8,608,052	9,816,744

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、養殖漁業の総合支援事業を展開しており、当該セグメントは、その取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成し、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりであります。

- ・「鮮魚の販売事業」は、主にタイ、ハマチ、カンパチ、雑魚（天然魚含む）、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品、マグロ、ウナギ等の販売であります。
- ・「餌料・飼料の販売事業」は、主に生餌、配合飼料、モイストペレット等の販売であります。
- ・「その他」は、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当該報告セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等に準じて処理したものであります。

セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,664,185	12,987,795	39,651,980	28,536	39,680,517	—	39,680,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	579,472	579,472	197,832	777,304	△777,304	—
計	26,664,185	13,567,267	40,231,453	226,369	40,457,822	△777,304	39,680,517
セグメント利益又は 損失（△）	△307,010	1,754,183	1,447,173	△7,474	1,439,698	△60,460	1,379,237
セグメント資産	8,831,757	6,119,180	14,950,938	37,530	14,988,469	20,018,834	35,007,304
その他の項目							
減価償却費	450,044	80,097	530,141	20,455	550,597	27,319	577,916
貸倒引当金繰入額	△55,493	△330,090	△385,583	—	△385,583	—	△385,583
持分法投資利益	6,968	—	6,968	—	6,968	—	6,968
特別損失	37,979	—	37,979	—	37,979	33,540	71,519
(投資有価証券評価損)	—	—	—	—	—	33,540	33,540
(減損損失)	37,979	—	37,979	—	37,979	—	37,979
持分法適用会社への 投資額	63,516	—	63,516	—	63,516	—	63,516
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	1,463,603	444,040	1,907,644	—	1,907,644	71,918	1,979,563

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,470,091	14,960,869	40,430,961	30,137	40,461,098	—	40,461,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	620,559	620,559	204,255	824,814	△824,814	—
計	25,470,091	15,581,428	41,051,520	234,393	41,285,913	△824,814	40,461,098
セグメント利益又は 損失 (△)	△67,615	1,480,842	1,413,226	8,162	1,421,389	△15,392	1,405,996
セグメント資産	8,278,030	6,640,151	14,918,182	37,145	14,955,327	19,977,320	34,932,647
その他の項目							
減価償却費	464,133	101,558	565,691	5,605	571,297	30,103	601,401
貸倒引当金繰入額	△66,499	302,898	236,399	—	236,399	—	236,399
持分法投資利益	13,640	—	13,640	—	13,640	—	13,640
特別損失	—	—	—	—	—	301,791	301,791
(投資有価証券評価損)	—	—	—	—	—	301,791	301,791
持分法適用会社への 投資額	75,207	—	75,207	—	75,207	—	75,207
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	129,718	35,433	165,151	—	165,151	30,378	195,530

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント利益又は損失 (△)	△60,460千円	△15,392千円
セグメント間取引消去における内部利益	△65,616	△20,353
その他調整額	5,155	4,960
セグメント資産	20,018,834千円	19,977,320千円
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△2,777,978	△3,026,251
報告セグメントに属さない全社資産	22,796,813	23,003,571

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
1株当たり純資産額 2,213.87 円	1株当たり純資産額 2,234.70 円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	25,590,325	27,213,294
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	1,813	2,123
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	25,588,511	27,211,171
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	11,558	12,176

2. 1株当たり当期純利益

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益 84.59 円	1株当たり当期純利益 59.90 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	977,293	694,578
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	977,293	694,578
普通株式の期中平均株式数 (千株)	11,553	11,595

(重要な後発事象)

該当事項はありません。